

平成 30 年 2 月 22 日時点

所管課	生涯学習課	担当班	社会教育施設班
-----	-------	-----	---------

(1) 事務事業の概要			
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 56 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 〇〇 年度～ 平成 〇〇 年度まで	市民一人ひとりが、自ら学び自ら行動し、より良い生活や自己向上を高めるために、様々な学習機会を提供する事業。 ①各種講座・教室の開催：水彩画、ヨガ、陶芸、琴など。通年コースが多い。月1～2回2時間。定員15～50人程度 ②イベントの開催（海上公民館まつりなど）。		
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等	
社会教育法21条で「公民館は市町村が設置する」と規定。	開始当初は、他団体・民間等で同様の事業を行っている団体は少なかったが、最近では趣味的な内容の事業を他団体でも実施している。また、住民層の学習意欲や社会意識の多様化により、多人数構成の講座には無理が生じている。	・利用者アンケートでは「ほぼ満足している」方が多い。・講座受講者から、マンネリ化している講座の見直しをして欲しいとの意見あり ・利用者アンケートでは「地元の公共施設として無くってはならない身近な施設として不可欠である」との意見が他地域に比べて多い。	

(1) 事業費の詳細(28年度の決算)		単位:千円
1報酬	132	公民館運営審議会委員報酬
2報償費	1,090	講座等講師謝礼
3需用費	1,125	消耗品、印刷製本費、燃料費
4役務費	478	通信運搬費(郵送)、手数料(折込)、保険料
5その他	202	使用料、負担金、旅費、備品購入費
(2) 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

前年度 増減理由	講座用備品購入のため増額
-------------	--------------

手 段	① 主な活動
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・公民館報等により講座の募集や啓発活動に工夫する ・公民館まつり等主催事業の啓発に関して工夫・検討 ・講座の内容を精査・検討する。

	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)
目的	対象 ・市民
	意図 ・講座に参加し知識を身に付け、教養を高め、生きがいを見つける
	対象 意図

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②	(2)		
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

年度	ア (左軸)	イ (右軸)
H25	13,500	670
H26	7,000	645
H27	7,000	725
H28	6,000	700
H29 計画	7,200	735

評価内容	① 進捗状況 ☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難														
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標 のタイプ		数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	比較 成果動向	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29計画
	【コメント】 (低下の場合、その理由)		成果指標イ			数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下		ア	4,622	△6,056	△390	△673
										イ	△11	△20	67	△19	30
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容			今後の方向性	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()								
		H29.5～H30.3	新規講座：邦楽に楽しむ～三味線に挑戦～・天体観測教室・社交ダンスにトライ！ 新規主催事業：日本伝統文化を楽しむ～落語を楽しむ～・ファミリーコンサート～季節の歌を楽しむ～			今後の方向性	平成29年度中 公民館利用者の意見や社会情勢を参考にしながら、新規講座・主催事業を企画・運営していく。								